
心の乱れとは @ 2 4

ビビンバ吉田

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

心の乱れとは @24

【Nコード】

N3768M

【作者名】

ビビンバ吉田

【あらすじ】

心が乱れる話。オリジナル。

今日は平和だった。

どのくらい平和だったかというと、マライオンが間違っただけを吐き出した際に「よくあることさ、マー君」とゴージャヤンプル食べながら励ますシーサーの図くらい平和だった。

今日も家に帰ると、すぐに留守番電話をチェックする。

1件。

再生ボタンを押す。

「言外にある意味の保存場所がリニューアルして、椅子でできた花火みたいになっただけだね」

やはり彼女からだった。

……？

言外にある意味というのは、言葉の外、言葉の裏にある意味という解釈で自分は使っていたのだが、どうも彼女の口ぶりでは「言葉の外」という場所が実際に存在しているようだ。少なくとも近所にそれらしき表札がある家屋敷を見たことはない。どこにあるのだろう。関西地方？

いや、「言葉」は誰もが発し使用されているものだから「言外」は最低でも誰かが言葉を発し、言葉が届いてしまう恐れのある場所では無いはずだ。そこは「言葉の内」「言内」と呼称される場所。

それを軸に考えれば、人間の生存活動可能領域+世界一声がでかい人のMAXの大声が届く範囲には保存場所はない。

ただ、現在は技術の発達により生存活動限界領域が拡がり、保存場所の条件に合う場所が狭まった。

そういう理由で保存場所をリニューアルせざるを得なかったというのはあり得るのではないかと思う。

具体的にどこかは人間の活動限界領域の調査をしなければ絞り込め

ないので今回は割愛するとして、リニューアルした理由の推測はできたから良しとしよう。

だが、リニューアルしたことによって椅子でできた花火のようになってしまったというのは一体何なのか。

椅子花火職人というのを聞いたことが無いのであまりメジャーではないと思う。

花火は基本的に火薬を詰めたものを点火することによって音や光などを楽しむものだ。

それが椅子で出来ているというが、通常の椅子には火薬が仕込まれていない為、火をつけても普通に燃えるだけで音や光を楽しめるような類の現象は起こらない。

つまり椅子そのものが爆発するのは不可能で、椅子を打ち上げ花火の発射台のような位置づけで考える方が考えやすい。

椅子は座るためのものだから、それでできた花火ということは座るとその圧力で着火し、導火線が燃え尽きると座っている人が上空に発射されるというのが最も答えに近いのではないか。しかしその場合、あらかじめ発射される人が爆発するよう、体内に大量の火薬を詰めておかねばならず、それはどう考えても殺人事件に発展するので、使うとしても拷問や死刑が関の山だろう。まあ、そういうイリーガルなタイプの花火だからこそ一般には公表されておらず、自分が知らなかったのかとも考えられる。

保存場所が椅子花火のようになったのだから、保存場所に腰を下ろすと爆発するというのか？

その際、音や光など、人間の五感に訴えかけるような芸術が見られる。

つまりは言外の意味を腰を据えて汲み取ろうとした時に真実の言葉の美しさを知ることができるということだろうか。

ただ、そこが人間の活動限界領域外である以上、永久に人はそこへ辿り着けないということをも彼女は言いたかったのかもしれない。

これはあくまで推測だ。

彼女の言葉の言外の意味まで、汲み取れたのかわからない。

とにかく今日も平和だった。

きっと明日も平和だろう。

（後書き）

もし、読んで頂き、思うことありましたらどのような事でも書いて下さるとありがたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3768m/>

心の乱れとは @ 2 4

2010年10月12日05時33分発行